

【別冊】

総務教育常任委員会資料

(平成29年3月21日)

【項目】

ページ

5 中部の福興に向けた女性活躍円卓会議の開催結果について

【女性活躍推進課】・・・ 1

中部の復興に向けた女性活躍円卓会議の開催結果について

平成29年3月21日
女性活躍推進課

鳥取県中部地震に際し、被災者支援や震災からの復興に向けた取組を行い地域で活躍した女性たちが、その経験を基に今後の取組について語り合う「中部の復興に向けた女性活躍円卓会議」を次のとおり開催しました。

この会議で出された意見を参考にしながら、女性たちを含む地域の方々の活躍を今後の中部の復興につなげていきます。

1 日時

平成29年3月18日(土) 午前10時から正午まで

2 場所

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール(倉吉市)

3 内容

(1) 第1部 地域で活躍する女性たちによるグループディスカッション

地域で活躍した女性たちが、自らが行った被災者支援活動や震災からの復興・復興に向けた取組の優良事例や課題等の共有を図るため、8つのグループに分かれて意見交換を行った。

(参加者数 35名)



(2) 第2部 知事と語る円卓会議

地域で活躍した女性たちが、ご自身のこれまでの取組や第1部グループディスカッションで話し合われた内容を踏まえ、今後の中部の復興に向けた取組について平井知事と意見交換を行った。

ア 参加者

鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク 会長 大月 悦子 氏

(特非) こども未来ネットワーク 理事 楠本 知恵美 氏

いちごサロン 代表 磯谷 弘子 氏

倉吉市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 塚根 智子 氏

絵本と食育「はらぺこあおむし」 代表 衣笠 優子 氏

三八市実行委員会 代表 野口 智恵子 氏

(社福) 敬仁会 地域ケアセンターマグノリア

グループホームリーダー 前田 真弓 氏

鳥取看護大学 学生 広田 綺羅々 氏



イ 主な意見

- ・地域で活動している団体が多くあり、活動の内容も様々であることが分かった。このような団体を把握して中継するパイプ役が重要と感じた。
- ・災害時に女性が活躍するためには、日頃から発言できる場に出て行くなど、女性がリーダーとなり得るよう育成することが必要である。
- ・大学1年の時に公民館実習で訪れた成徳公民館の掃除などに行き、被災者の方と話をしてみると次第に笑顔になっていった。最初は学生と地域との関わりという関係が、地震を経て人と人との関わりに変わった。
- ・災害ボランティアセンターはソフトとハードの支援があるが、戸別訪問の帰りに学生ボランティアがおじいちゃんおばあちゃんに握手をすると涙を流される。最後は人が人を元気にするということが分かった。
- ・日頃から地域の中でつながりを持つておくことが、今回のような災害時にお互いを支え、地域を支えることにつながると感じた。